

新規事業

北海道青少年フロンティアリーダー養成事業

知事公約

13：官民が融合して、各地の若者による能力向上のための研修の企画・提案、合宿などを支援し、地域リーダーの育成を図るとともに、業種・地域を越えたネットワークの構築を図り、課題解決に取り組む「北海道ニューリーダーネットワーク（仮称）」を創設します。

事業の必要性

- 各地域を輝かせ、より元気にするためには、地域づくりをけん引する地域リーダーの存在が必要であり、これらの人材が相互につながり、各地域の情報を共有、互いに連携・協力しながら、持続可能な地域づくりを実践していくシステムを構築し、地域づくりを推進することが必要
- 北海道ニューリーダーネットワーク検討会議（総合政策部）の方向性として、中学生、高校生等を対象とした次世代の地域リーダーの担い手づくりが求められている

事業の概要

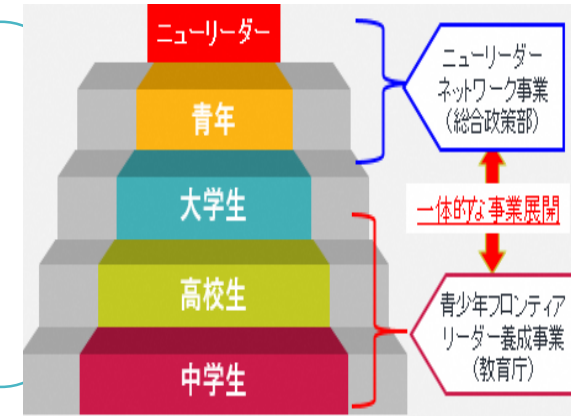
- ①将来の地域リーダーとなる中学生及び高校生等を対象に、地域資源を活用した体験的な学習や「SDGs」の推進につながる地域課題の解決に向けた実践的な学習の機会の提供
- ②地域リーダーを育成するための指導者養成やスキルアップのための研修会等を実施

◎フロンティアリーダー養成事業

- 事業調整会議の設置⇒プログラムの企画、運営方法の検討、評価、参加者の選考 など
構成員例：教育局、総政部、ネイパル職員 など
- 参加者は各市町村から推薦された中学生及び高校生60名（178市町村÷3カ年）
⇒3年間で全市町村から中学生または高校生が参加
⇒市町村教委から推薦を受け事業調整会議で選考
- 内容案
 - ・ネイパルを会場に「4泊5日」の合宿事業（実施施設、参集管内について別紙）
【特別講師による講義、フィールドワーク、地域リーダーとの交流など】
 - ・「全道地域づくり交流会（総政部事業）」への参加
【プレゼンテーション、知事等との交流】

◎指導者養成

- 次世代の地域リーダーを育成するための指導者養成社会教育関係団体指導者養成研修会の実施



成果：地域の様々な課題の解決に向けて主体的に取り組む人材の継続的な育成による地域の活性化

